



平成 14 年 10 月 10 日

各 位

会 社 名 **綜研化学株式会社**

代表者名 取締役社長 中島 幹  
(登録銘柄・コード番号 4 9 7 2)

問合せ先

常務取締役経営管理部長 安藤 隆夫

TEL 03 - 3983 - 3171

FAX 03 - 3988 - 9216

平成 15 年 3 月期中間及び通期の業績予想の修正について

平成 15 年 3 月期 (平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 3 月 31 日) の業績予想について、平成 14 年 5 月 28 日付連結決算短信及び個別財務諸表の概要にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想の修正

( 1 ) 中間期 (平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 14 年 9 月 30 日)

( 単位 : 百万円 )

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 予 想 ( A )	6,300	120	65
今 回 修 正 ( B )	6,000	380	220
増 減 額 ( B A )	300	260	155
増 減 率 ( % )	4.8%	216.7%	238.5%

( 2 ) 通期 (平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 3 月 31 日)

( 単位 : 百万円 )

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 ( A )	13,000	460	250
今 回 修 正 ( B )	13,200	620	300
増 減 額 ( B A )	200	160	50
増 減 率 ( % )	1.5%	34.8%	20.0%

( 3 ) ご参考 : 前期の実績 (平成 13 年 4 月 1 日 ~ 平成 14 年 3 月 31 日)

( 単位 : 百万円 )

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 ( 中 間 ) 純 利 益
中 間 期 ( 4 / 1 ~ 9 / 3 0 )	5,064	112	121
通 期 ( 4 / 1 ~ 3 / 3 1 )	10,929	102	50

## 2. 単独業績予想の修正

(1) 中間期(平成14年4月1日~平成14年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益	1株当たり中間配当金
前回予想(A)	5,100	100	55	0円00銭
今回修正(B)	5,100	300	170	0円00銭
増減額(B-A)	0	200	115	
増減率(%)		200.0%	209.1%	

(2) 通期(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり期末配当金
前回予想(A)	10,400	380	215	10円00銭
今回修正(B)	10,800	550	300	10円00銭
増減額(B-A)	400	170	85	
増減率(%)	3.8%	44.7%	39.5%	

(3) ご参考:前期の実績(平成13年4月1日~平成14年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期(中間)純利益	1株当たり期末(中間)配当金
中間期(4/1~9/30)	4,594	81	89	0円00銭
通期(4/1~3/31)	10,088	115	56	10円00銭

## 3. 修正の理由

(1) 売上高

当中間期における連結売上高は、主にLCD用等の粘着剤が増加したものの、装置システムでは納入時期の下期へのズレ込みにより当初計画を下回り、60億円(当初予想比4.8%減)となる見込であります。

下期につきましては、国内外の景気停滞による厳しい事業環境が予想される中で引き続き販売拡大に努め、粘着剤関連製品を中心とした販売増及び上期からズレ込んだ装置システム部門の売上増加により、連結売上高は72億円(当初予想比7.5%増)となる見込みであります。

従いまして、通期の売上高は132億円と当初予想比1.5%増となる見込みです。

(2) 利益

主力事業の粘着剤におけるLCD用等の高機能製品の販売数量の伸長による収益増が大きく寄与いたしました結果、当中間期は当初予想を大きく上回り、連結経常利益を3億80百万円、連結中間純利益を2億20百万円と修正いたします。

通期につきましては、中間期の増加が寄与したこと等により連結経常利益を6億20百万円、連結当期純利益を3億円と修正いたします。

以上